



燕市「読解力」育成プロジェクト通信

先生方の主体的な取組がスタートしています！

11月17日（水）、小池中学校区の研究主任会議が行われました。中学校区の学力分析を行い、中学校区で一緒に取り組んでいけることを探ることがねらいでした。

中学校の参加者から各学年の生徒の授業の様子について

「理科の実験にとっても一生懸命に取り組む」、

「授業では手ごたえがあるんだけど、テストを受けてみると定着がいまひとつ…」と説明があると、その学年の授業を小学校時代に担当していた小学校の参加者からは

「小学校時代も実験の授業には食いつきがよかったなあ」

「でも、授業での手ごたえと、テストの結果にギャップがあったんだよなあ」と同じ中学校区の先生方だからこそのお話をうかがうことができました。



KPT法で意見を整理しました。
中学校区で一緒に取り組める
ことはないか話し合いました。
いつの間にか話題は「読解力」
でした。

Keep

分かっている

- ・授業が分かると感じている子が全国平均より高い
- ・授業をわかるというモチベーションの高いまま継続できるとよい
- ・「わかる授業」「楽しい授業」の実践
- ・自分は分かっていると思っている子が多い

意欲

- ・学習意欲・自己肯定感が高い
- ・前向き・やる気

その他

- ・やらなければならない学習はしっかりやる子が多い
- ・長善タイムを各校が工夫して運営している
- ・ICTに強い
- ・知識（漢字・計算等）



Try

課題設定

- ・じっくりと指導できる、子どもが興味をもって取り組める学習課題
- ・答えのない問題を自力で解決させる
- ・個で考え時間の確保 なぜそう考えるのか説明させたい

資料の活用

- ・書くことを中心に自力解決の方法を習得する
- ・資料を活用し、まとめたり、表現したりする学習の設定

Problem

分かったつもり

- ・分かっているつもりだが、分かっていない子が多い
- ・授業での理解をどのように定着させればよいか

読み取り×

- ・問題の意味が読み取れない（問われていることが分からない）
- ・内容を正しく読み取る力
- ・何を問われているか理解するのに、時間がかかる子が多い

資料活用×

- ・情報の取捨選択力
- ・資料活用能力（資料・データの比較・活用）
- ・情報を基に考える

その他

- ・継続して学習（家庭学習）する
- ・筋道を立て、解決方法を考える力が弱い？
- ・個人差が大きい
- ・全国学力・学習状況調査における算数・数学への苦手感
- ・ゲーム・スマホとどう向き合うか
- ・インターネットに頼りすぎ

その他

- ・「分かる」気持ちの継続
⇒読める・褒める・達成感
- ・毎時間、前時の振り返りを行う
- ・教科書を大切に・問題文を丁寧に
- ・教え合いのゴール
⇒誰もが説明できるように
- ・家庭学習
⇒与えられたものではなく、自分で決める

